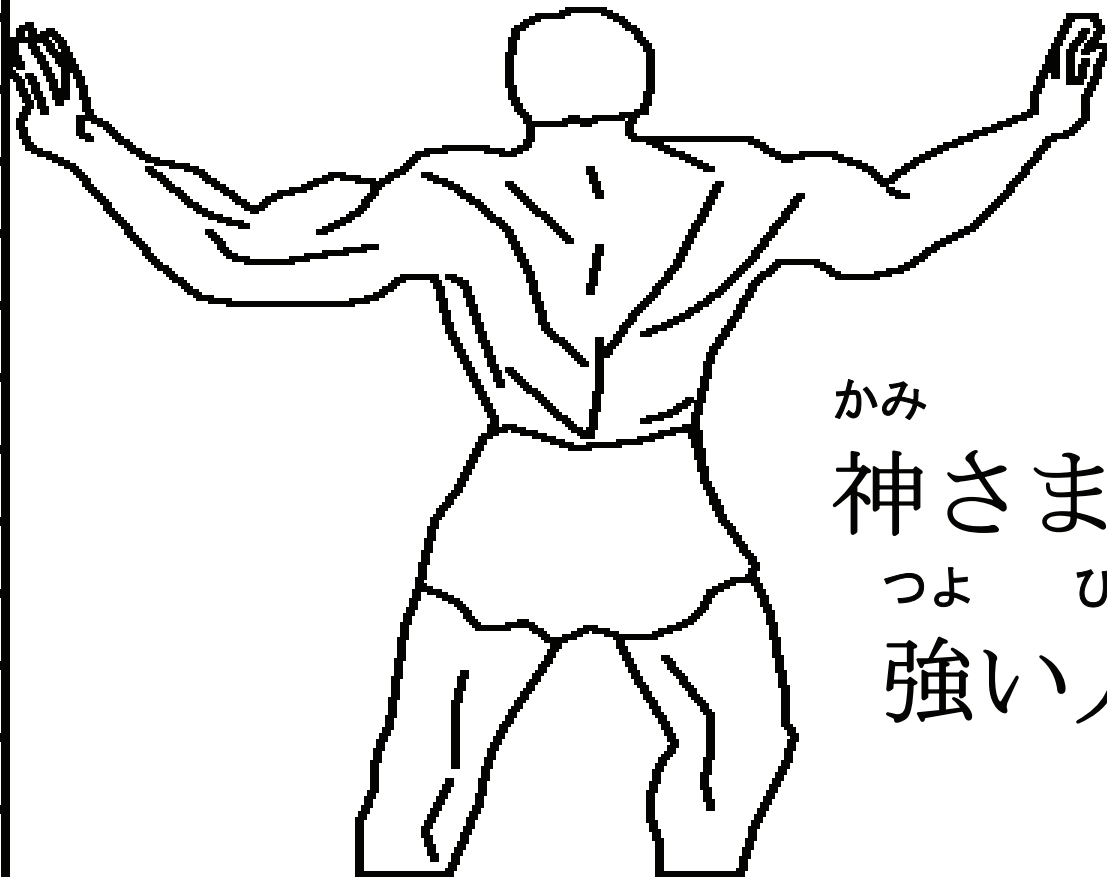


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



かみ

神さまがくださった

つよ ひと

強い人、サムソン



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Janie Forest

かいさくしゃ

改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

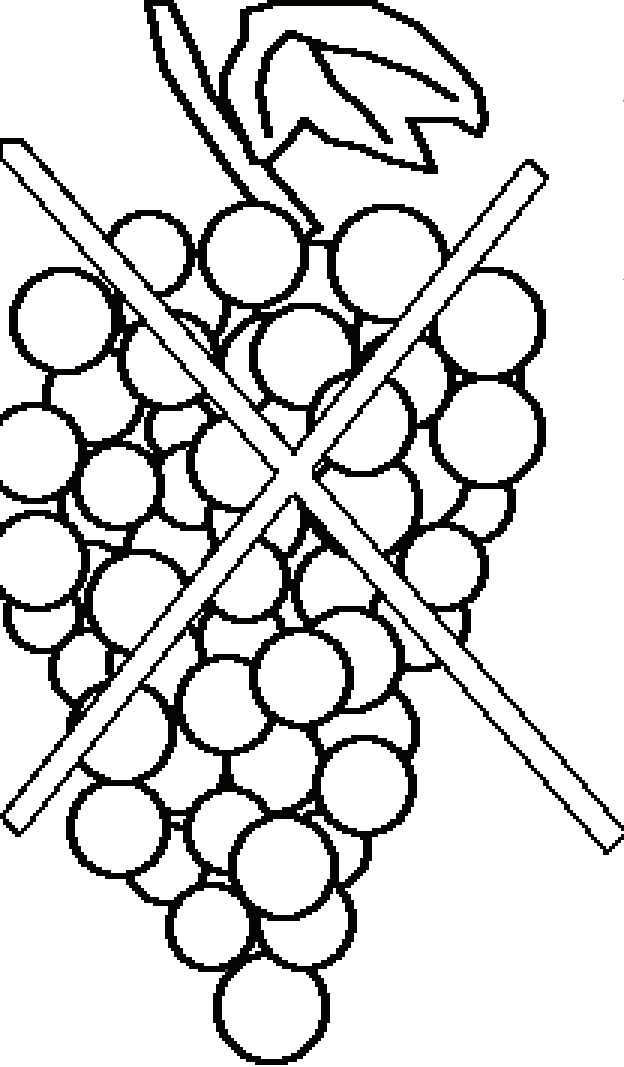


むかし ち ひと す
ずっとずっと昔、イスラエルの地にマノアという人が住んでいました。マノア
とおくさんには、こどもがありません。でもある日のこと、マノアのおくさんの
しゅ つか ひ
ところに、主からの使いがあらわれました。そしてこう言いま
あか う こ
したよ。「あなたに赤ちゃんが生まれるでしょう。その子は、
かみ あか
神さまがくださるとくべつの赤ちゃんですよ。」

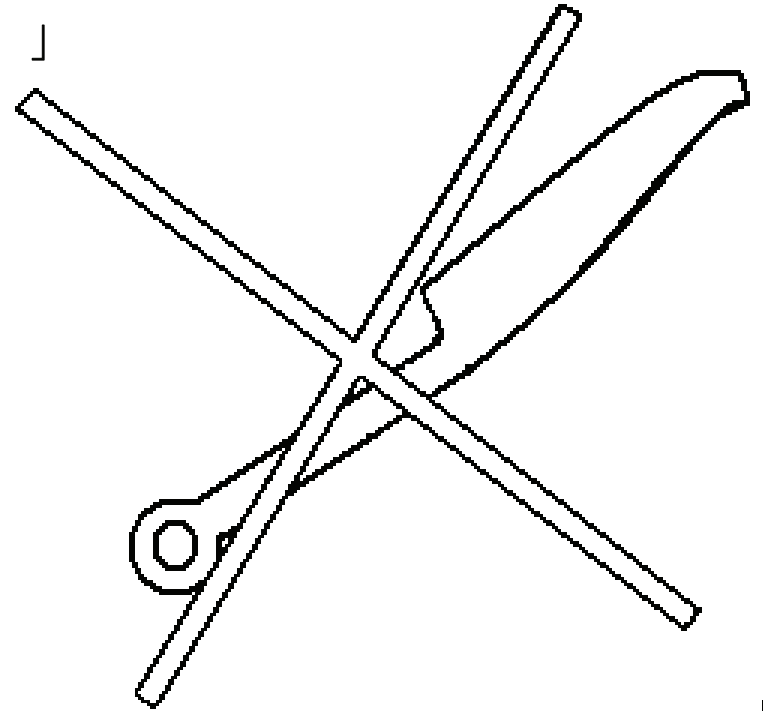


「すばらしいニュースがあるのよ。」かの女は ^{じよ} すぐに ^{おっと} 夫マノアのところへ
行^いって、このことをつたえ^きました。それを聞^いいたマノアは祈^きりました。「ああ、
わたしの主^{しゆ}よ・・・。どうぞ、私^{わたし}たちのところへ、もういちど来^きてください。
そして、おし^うえてください。生ま^これてくる子^こにどんなことをすればいいのです
か。」





そこで、天使はまたあらわれてマノアにこう言いましたよ。「その子は、決してかみの毛を切ってはならない。決してお酒をのんではならない。そして決して神さまが言われたもの以外は食べてはならない。神さまは、この子をイスラエルのしどう者として、そしてわるい人をさばくものとして、えられたのです。」





このころ、^{かみ}神さまの^{たみ}民
イスラエルの人々は、ほんとうに
^{すく}

だれかに救ってもらわなければ、どう
しょうもなかったのです。なぜってかれらは
^{かみ}

もうすっかり神さまからはなれていたのですからね。

それにまた ^{てき}かれらの^{じん}敵ペリシテ人からも、いじめられていたのです。でもね、

^{かみ}かれらが^{いの}神さまにお祈りしたら、^{かみ}神さまは、ちゃんと聞いてくださいました。^き

そして、^{あか}赤ちゃんを^{かみ}くださったのです。神さまは「その子は^ここの世で^よいち

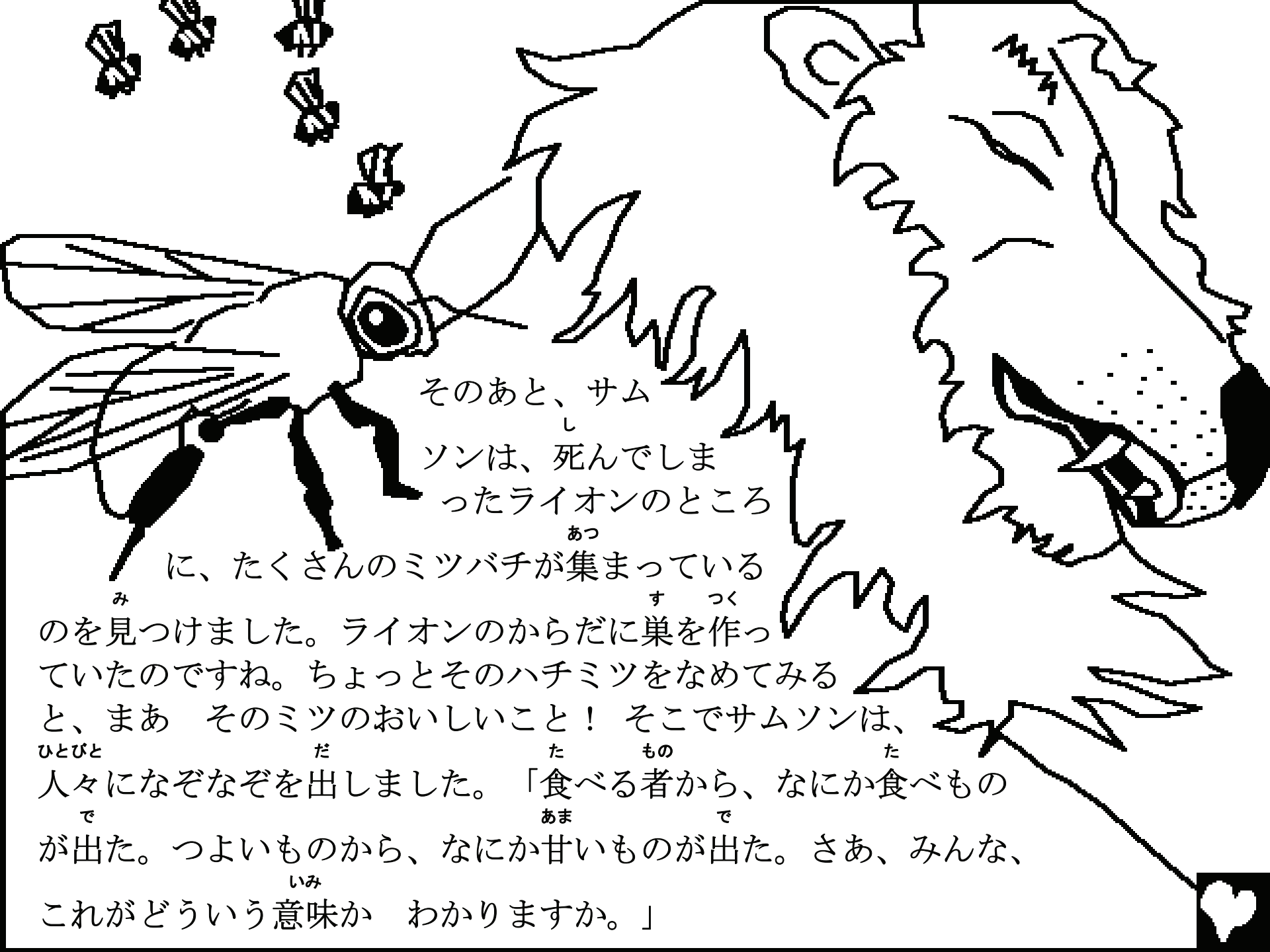
^{つよ}ばん^{ひと}強い人になるだろう。」と言われましたよ。





さて、しばらくして、マノアのお
おとこ こ う
くさんは男の子を生ましました。
こ なまえ かみ
その子の名前は、サムソン。神さ
まは、サムソンを祝しゆくふくしてく
ださり、すくすくと大きくなりま
おお
した。また、サムソンに聖せいれいの
ちから つよ
力がはたらいてほんとうに強
なっていました。ある日のこ
なに も
と、サムソンは何も持たないで、
じぶん て つか
自分の手だけを使って、わかいラ
イオンとたたかったのです。そし
つよ
て……。なんて強いのでしょ
う。とうとうそのライオンをころ
してしまったのです。





そのあと、サム
ソンは、死んでしま
ったライオンのところ

に、たくさんのミツバチが集まっている

のを見つけました。ライオンのからだに巣を作っ
ていたのですね。ちょっとそのハチミツをなめてみる
と、まあ そのミツのおいしいこと！ そこでサムソンは、
人々になぞなぞを出しました。「食べる者から、なにか食べもの
が出た。つよいものから、なにか甘いものが出た。さあ、みんな、
これがどういう意味か わかりますか。」





だれも、その意味いみがわかる人ひとなんていません。
でも、サムソンがけっこんしたペリシテ人じんの新しいあたい
おくさんは、サムソンからこたえきを聞き出し、友だちだになぞとも
なぞの意味いみをおしえてしまったのです。それを知しったサムソン、
ほんとうおこに怒りましたよ。

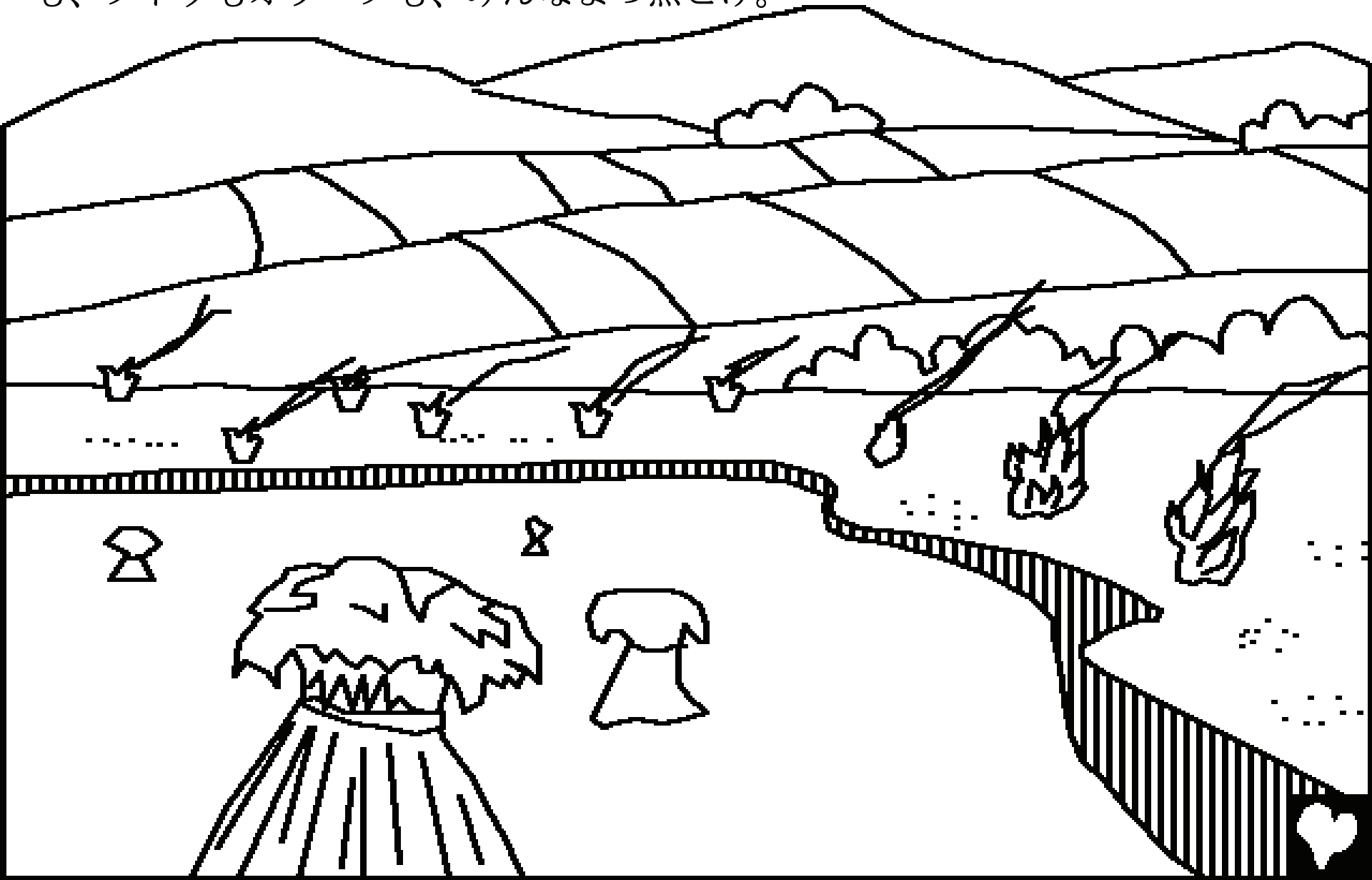


でもね、そのあとでサムソンをもっともっと怒らせたことがあるのです。それは、ペリシテ人たちが、かつてにサムソンのおくさんを、かれの一ばんのなかよしおこの友だちいにあげてしまったことです。サムソンは、仕返しをしようと思いましたが、でも、どうやって？
そこでまずサムソンは300匹ものキツネをつかまえました。それから、つぎつぎにキツネとキツネのしっぽをむすんでいきました

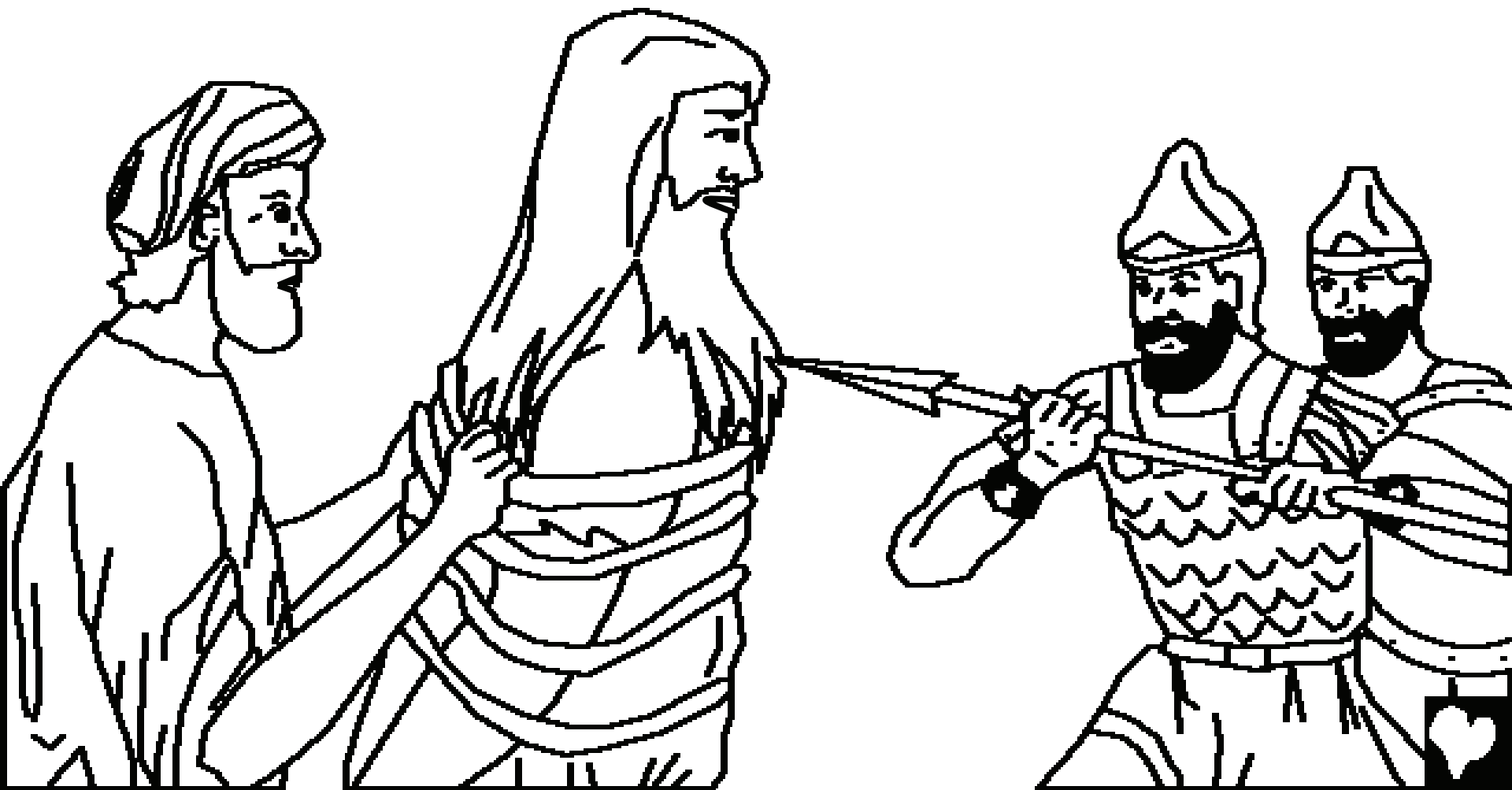
ひきよ。2匹ずつね。そして、むすんだしっぽのあいだに、火をつけたタイマツをとりつけました。サムソンは、いったいどうするつもりなのでしょね。



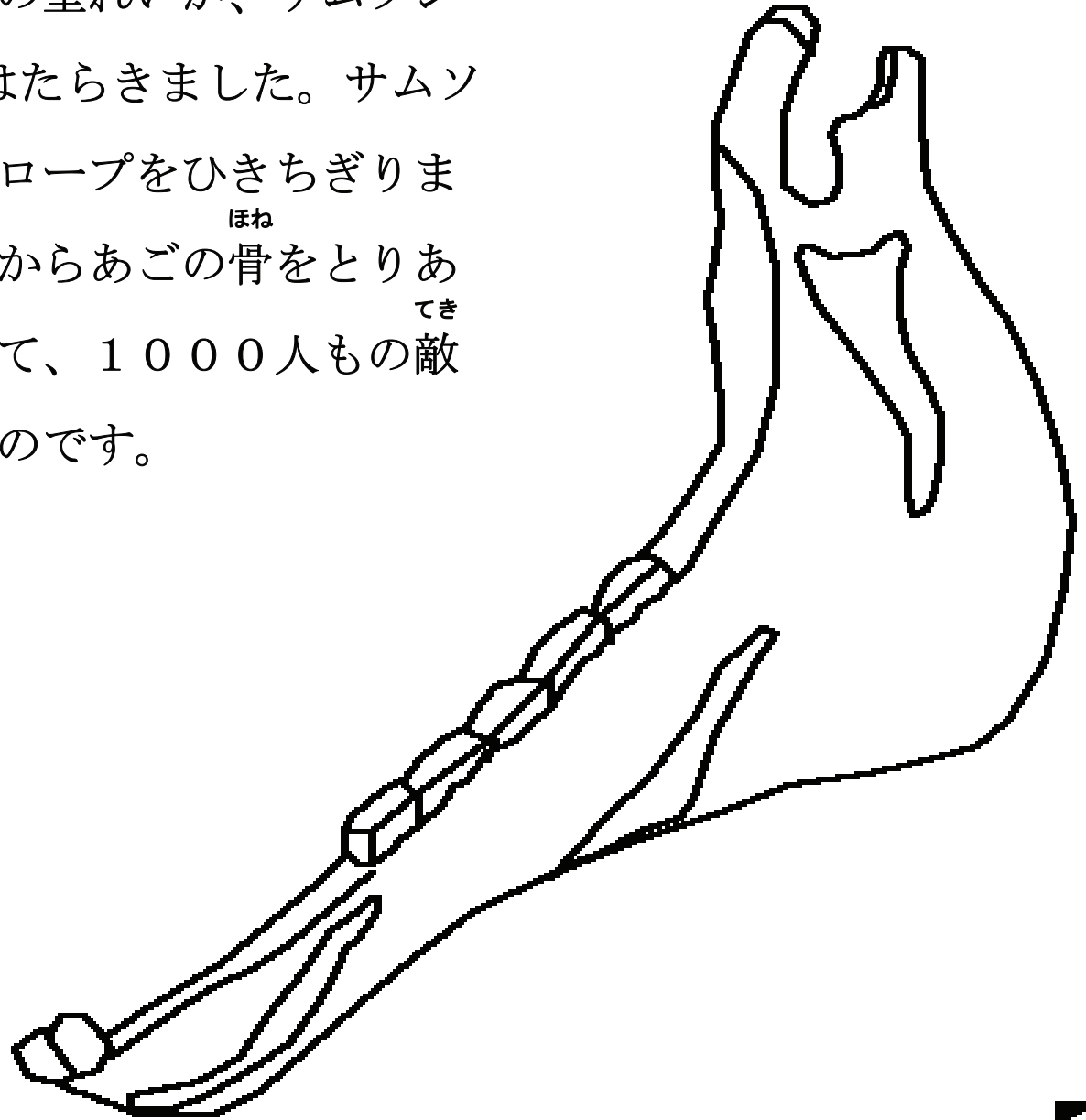
サムソンは、そのキツネたちをペリシテ人の畑に放したのです。畑のムギも、ブドウもオリーブも、みんなまっ黒こげ。



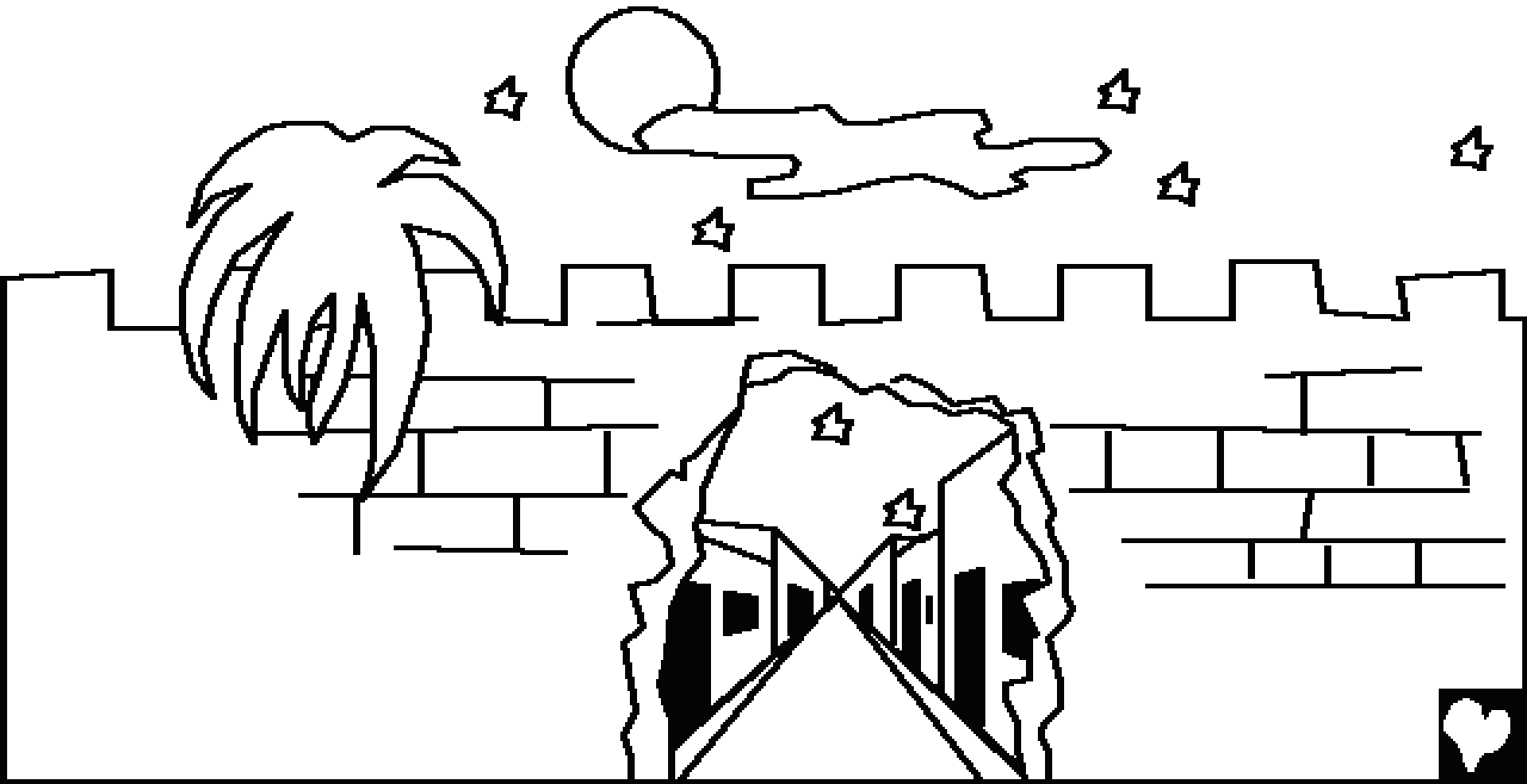
こんどは、ペリシテ人が仕返しをする番です。でもサムソンは、自分でペリシテ
人のところへ、出て行ったのです。かれは、かれらにつかまえられ、手をしばら
れ、そしてひきわたされて殺されることがわかっていたのですけれど。



そのときです。また主しゆからの聖せいれいが、サムソンのところちからづよにきて、力強ちからづよくはたらきました。サムソンは、しばられていた手てのロープをひきちぎりましたよ。そして死しんだロバからあごほねの骨をとりあげました。その骨ほねをつかてきって、1000人もの敵てきを、ぜんぶ殺ころしてしまったのです。



その後、ペリシテ人のなかまたちは、
サムソンはいったいどこにいるんだろうと、あちこちさがしました。
ある夜の^{よる}こと、サムソンが^{まち}町にいることを知^しったかれらは、
かれに^なわなをしかけて、つかまえようとしました。



まち で まち もん

サムソンが町から出れないように、町の門にカギをかけてしまったのです。

へいき

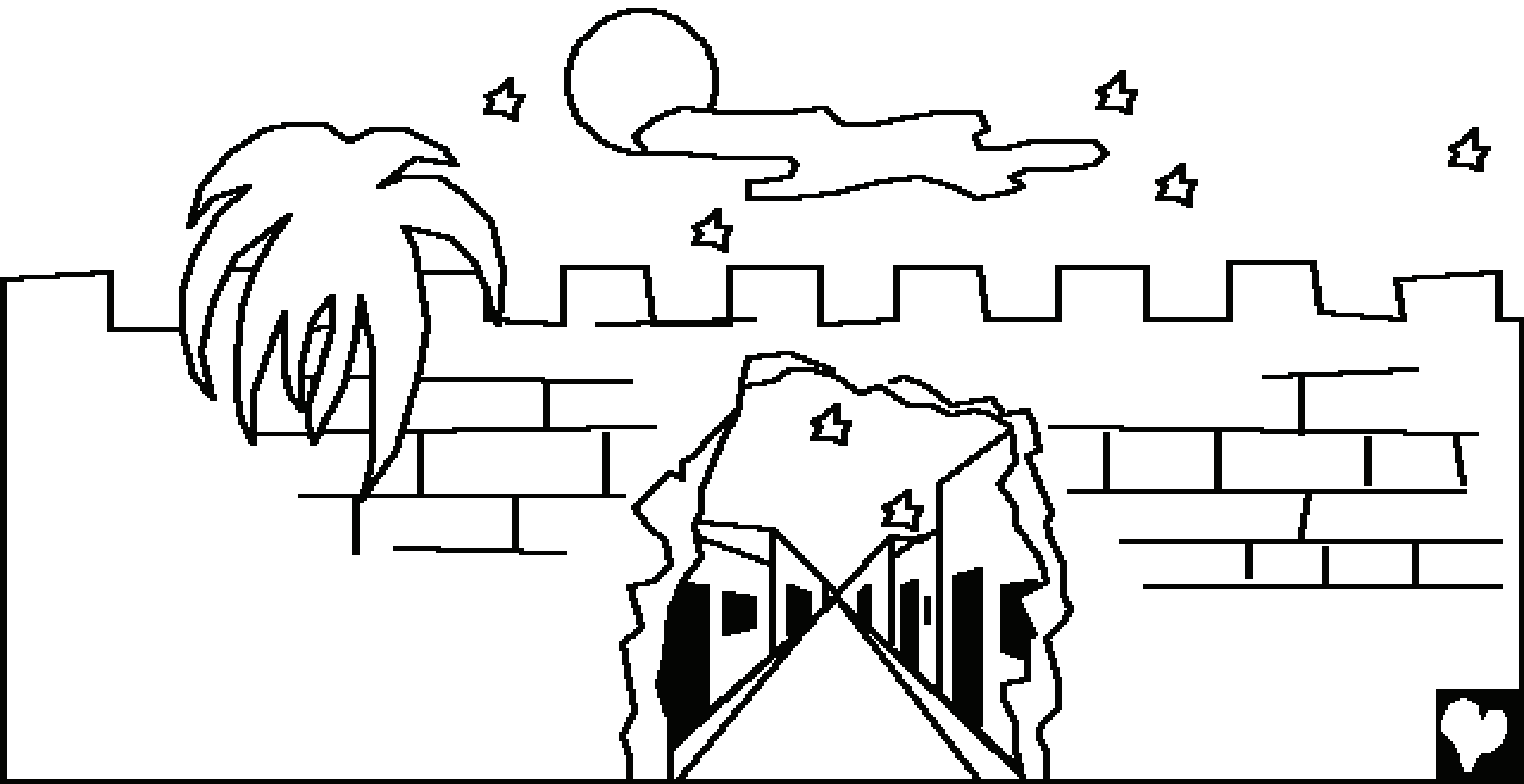
ところが、サムソンはそんなことされても、平気です。

おお まち もん かた

そのものすごく大きな町の門をひょいと肩にのせて、

まち で

さっさと町から出ていきました。



でも、ここでサムソンは、神さまのめいれいにしたがいませんでした。神さま
は、サムソンが自分にしたがっているかぎりには、力を与え、いつも助けようと
思われていたのですけれどね。ある日、サムソンは、
かれがどうしてこんなに強いのかというひみつを、
デリヒというペリシテ人のうつくしいスパイに話
してしまったのです。サムソンのひみつを聞いた
デリヒ、さっそくある人にか
れのかみの毛を切りおとすよ
うに言いましたよ。もちろん、
サムソンが眠っているう
ちにね。





じん へいし
ペリシテ人の兵士たちは、デリヒ
ねむ
のへやで眠っているサムソンにお
そいかかりました。さあ、たいへ
ん。サムソンは、いっしょうけん
たたか
めい戦いました。——けれども、
かみ
神さまからはなれてしまった今、
なん ちから
サムソンにはもう何の力もありま
せん。かわいそうにサムソンは、
へいし
つかまえられて兵士たちに目を
だ
えぐり出されてしまいました。



め み
目が見えなくなってい、すつ
よわ
かり弱りはてたサムソンは、いま
じん
やペリシテ人のどれいなのです。
じん み
ペリシテ人たちは、かれを見て、
ばかにしてわらいました。「あい
かみ つか もの
つがね、もと神に仕える者だった
とはね。」

じん あつ いわ
ペリシテ人たちは、みんな集まりお祝
た
いのごちそうを食べましたよ。また、
じぶん
かれらは自分たちがやっとサムソンを
つかまえることができたとよろこび、
さかな かみ
かれらの魚の神、ダゴンをあがめたた
てら
えました。そしてダゴンの寺で、お
の
いに飲んで、よろこんでこう言いま
い
した。「そうだ！サムソンをここへつれ
み
てきて、見せものにしようじゃない
か。」



しょうねん

てら

ひとりの少年が、サムソンをつれてきましたよ。そして、寺をささえている

はしら

てら

にん

じん

柱に、サムソンをもたれさせました。その寺には、3000人ものペリシテ人

やね

うえ

おお

ひと

てら

なか

が屋根の上に、そしてもっと多くの人たちが、寺の中にいました。「あいつが、

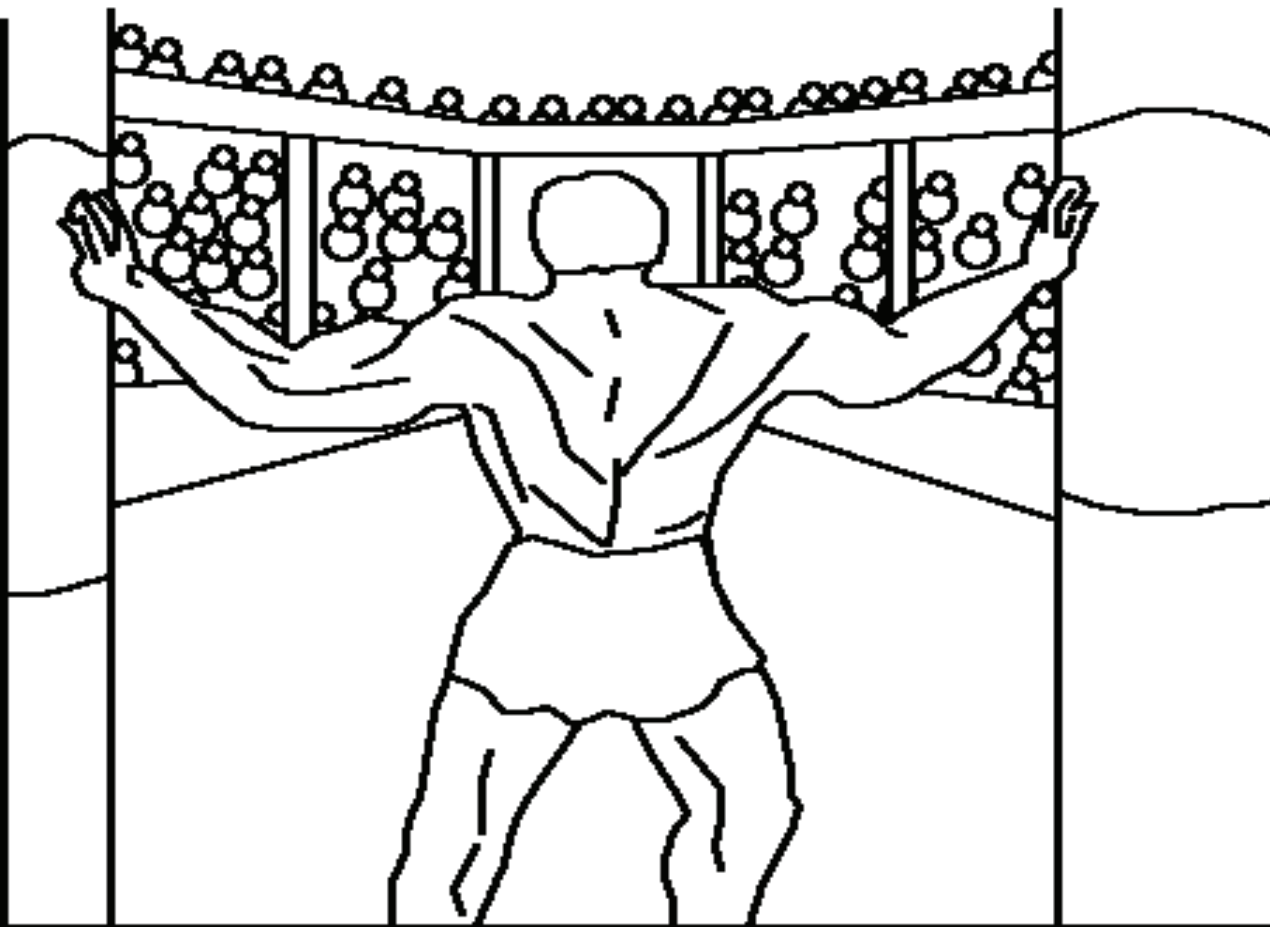
つよ

い

あの強いサムソンだってよ。」こう言ってみんなわらい ところが、ろうやの

中にいるうちに、サムソンのかみの毛がまた伸びはじめていたのです。ここで、

かれは心からいのりました。「ああ、主よ、いま1度だけでけっこうです。どうぞ、わたしにあなたの力をください。わたしを、つよくしてください。かれらに、えぐりとられてしまったわたしの2つの目の仕返しができますように。」ました。



みなさん、^{かみ}神さまはサムソンにもう1度、^{いちど}力を^{ちから}あたえられると思いますか。

^{しかえ}仕返しなど、^め目も^み見えないサムソンには、^{ちから}でき^ひそうもないことですよ。でも、

そう、^{ちから}そうなのですよ。力^ひいっばい引^もっぱつ

て、^も持ち^あ上げて、サムソンはそのものすご

^{おお}く^{はしら}大きな柱^{はしら}をバラバラにしてしまった

^{てら}のです。ダゴンの寺^{おお}は大きい^{おお}大きい

^{おと}音を^{おと}たてて、みる^{おと}みるうちにくず

れていきました。そし

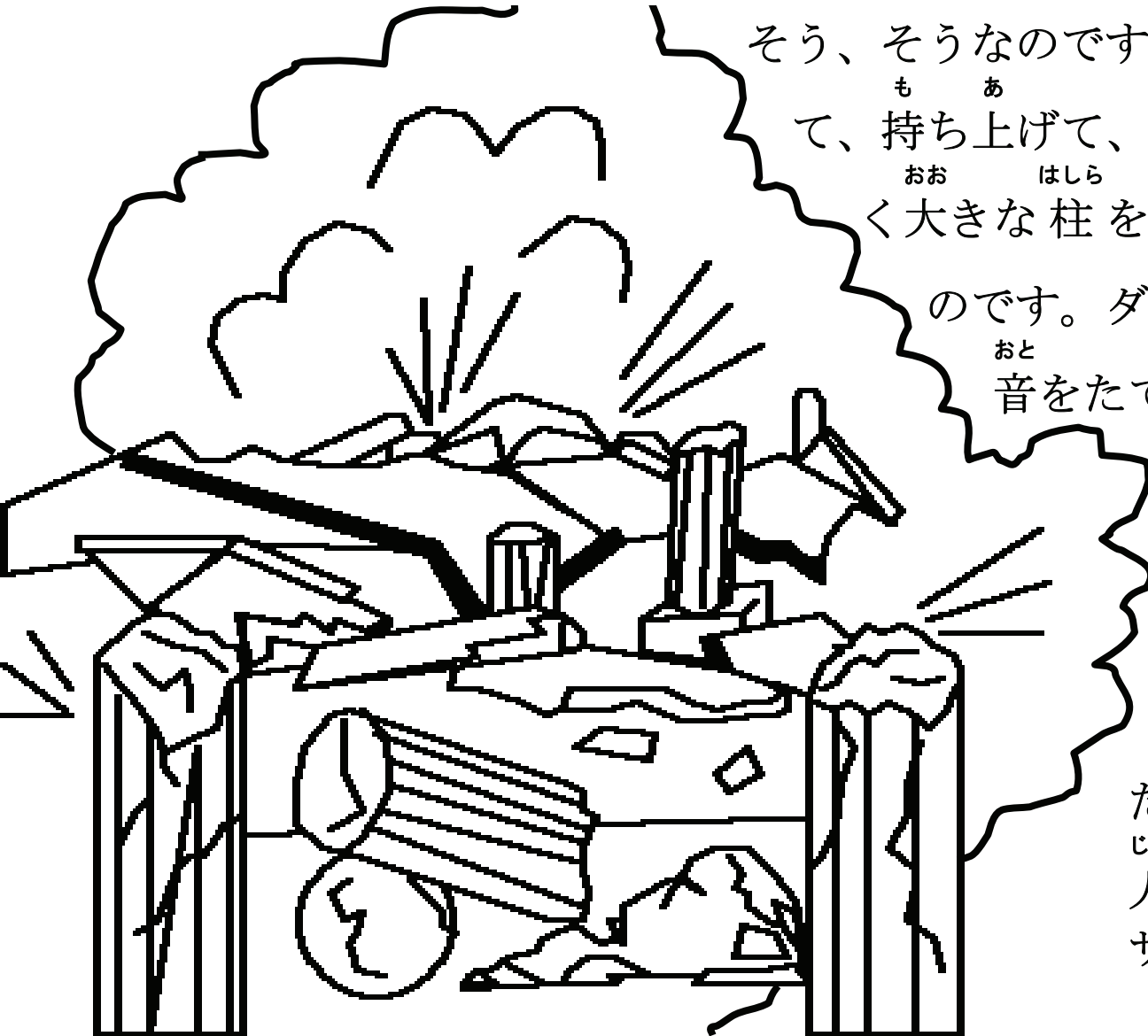
^{ひと}て、そこにいた人^{ひと}たちみ

^{てら}んな、ダゴンの寺^{てら}といっ

^ししょに死^しんでしまいまし

^{なんぜんにん}た。何千人^{なんぜんにん}ものペリシテ

^{じん}人が……。そして、
サムソンも……。



かみ つよ ひと
神さまがくださった強い人、サムソン

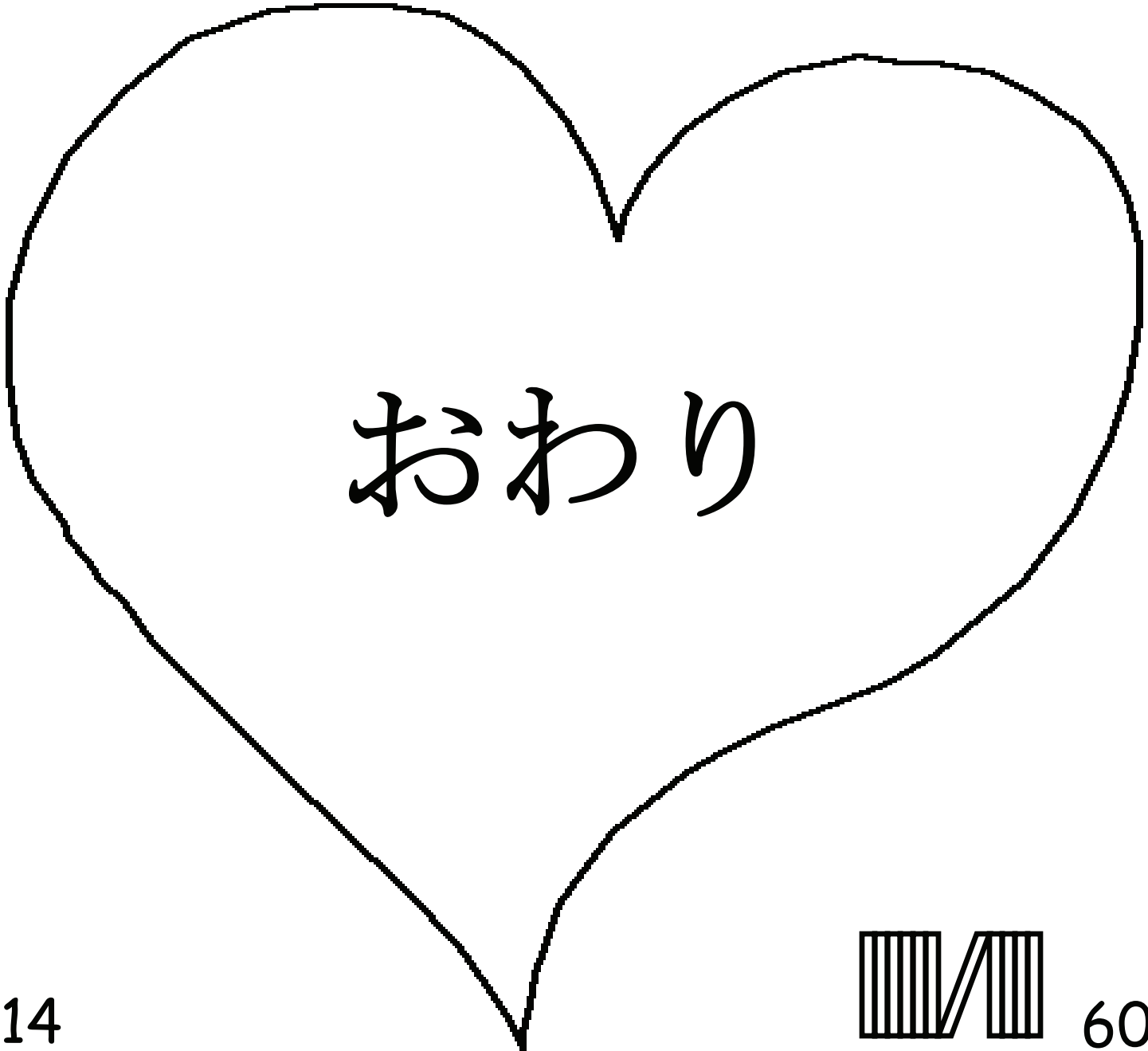
かみ み せいしよ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

し しき しょう しょう
士師記 13 章 - 16 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいますとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくださいます。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてくださいます。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてくださいます。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

